

野田物語

棋士・渡辺東一 ③

厳しい修行を終え いよいよ独立へ

昭和3(1928)年、9年間修行してきた関根名人の元から独立した渡辺東一は、五段になっていました。

修行中は、雑巾がけや雑用をして成長してきた渡辺です。当時を「関根先生が」帰宅にならぬうちは眠れない。よく冬の寒い晩、玄關わきで、火鉢一つかかえて遅いお帰りを待っていたのをおぼえている。夜はどんなに遅くても、次の朝は早く起きて雑巾がけをしたものである。五段になって師の家を出るまで、そうした生活であった」と、新聞のインタビューで振り返っています。当時、土居市太郎名誉名人の門下生であった荻原淳八段は「渡辺さんは実直な人で、ヤマ気はないし、生活態度も



時代修業のもとで
関根名人の渡辺東一(大正15年)

「はい」と答えたものの、一家を背負っているという責任を思い出すと、つい考

まじめである。関根名人はしつけのやかましい人であった。そのくんとうを受けているので、どこことなく他の人と違って、私にはなにかひかれものがあつた。もともと、私は酒ものまなひし、付き合ひも好まない。いつもひとりぼっちで、遊びの仲間入りをしなかつたので、あまりよくいわれなかつた。そんな中で、渡辺さんにだけは親しみを感じ、四、五段のころは一緒に活動写真を見に行つたりした」と、当時の渡辺の実直さを新聞に答えています。

昭和5(1930)年、渡辺は結婚しますが、こんなエピソードがありました。

先輩に当たる溝呂木光治八段が、「渡辺君、そろそろ嫁を



渡辺の活躍を紹介する新聞(大正11年ごろ)

え込んでしまった渡辺でした。それでも決心し、溝呂木に言いました。

「条件があります。お袋が上京して来ても手をつないで歩いてくれる人。経済観念のしっかりした人、それだけです」と。

しばらくして渡辺は、溝呂木の薦めで、石山賢吉(ダイヤモンド社創業者)の家で、お見合いをすることになります。

お相手は、石山の姪トモでした。

※文中敬称略(次号へつづく)

【写真提供】 渡辺桂三氏

【取材協力】 渡辺典子氏

【参考資料】 日本経済新聞(昭和30年8月31日・昭和44年1月26日)／力の坂田に理づめの勝利」天狗太郎

4月の休日当番医

休日当番医での診療時間
 外科・産婦人科 = 9時～22時 (ただし16時～19時は除く)
 内科 = 9時～16時 (19時～22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
2日(日)	小張総合病院 (☎7124-6666)	あら山こどもクリニック (☎7129-7149)	杉崎クリニック (☎7125-1070)
9日(日)	野田中央病院 (☎7122-6161)	むらた内科循環器科クリニック (☎7127-8800)	川間太田産婦人科医院 (☎7127-1135)
16日(日)	東葛クリニック野田 (☎7124-3101)	岡医院 (☎7124-1218)	キッコマン総合病院 (☎7123-5911)
23日(日)	須藤整形外科 (☎7122-1221)	山縣医院 (☎7125-3741)	小張総合病院 (☎7124-6666)
29日(土)	キッコマン総合病院 (☎7123-5911)	岡田小児科医院 (☎7122-2519)	荒井医院 (☎7122-5723)
30日(日)	東武川間クリニック (☎7129-1365)	東葛飾病院 (☎7196-1166)	市岡医院 (☎7127-2757)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド (☎7124-7272: コード6101)、または野田市ホームページ (<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>) で確認をしてください。

急病センター

☎7125-1188


▼内科(小児科) = 19時～22時(毎日)

▼歯科診療 = 9時～12時(休日)

▼先日、高齢者筋力向上トレーニングの取材に行ってきた▼80歳を超えの方も参加されていましたが、楽しそうに、元気に器械運動をこなしていた、とても若く感じました▼今日から新年度。介護保険制度が大きく変わります。「介護予防」を新たに設けたのが特徴です。また、介護予防は壮年期からの健康づくりが大切で、市独自のプロジェクトも始まります▼21世紀半ばには3人に1人が65歳以上になると言われる日本。私も今から体力を付けて、元気な体を保ち続けたいと思いました (あ)


編集後記

市の木




けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり

人口と世帯(18.3.1現在) ●人口=153,930人(+21) 男=77,410人(+5) 女=76,520人(+16) ●世帯数=56,712世帯(+76) ●市の面積=103.54km²
 市報のだ 第969号 平成18年4月1日号/発行=野田市(〒278-8550 野田市鶴拳7番地の1・☎047125-1111)/編集=企画財政部秘書広報課